

教育ソリューション2012in見附

学力向上の決め手 ～見附市の取組～

子どもに「分かる、できる」を届ける
Web配信 交流フラザ No. 2
H23.8.9 見附市教育委員会

第1号を受けて、リレー方式で活用法の紹介をしています。今回は見附小と今中中です。

両の期待値以下だった問題を洗い出し、重点内容として位置付ける

前期で紹介された「子どもの難題」の傾向を分析し、日々の授業改善に生かす。上記各小学校の取組、大変参考になりました。見附小学校でも取り入れていきたいと考えています。さて、見附小学校では、夏休みの活用して次の取組を行っています。

- 1 昨年度の第1回～今年度の第3回の結果から、学年平均が両の期待値以下だった問題を洗い出す。
- 2 洗い出した問題で、これから指導する内容は2・3学期の重点内容として位置付け、既に終わっている内容は、補充問題を立てる。

以上のことを、適宜3学期のNR1の授業なども参考にしています。教科書のページ数の増え、分量を削って生徒に指導することが求められている中、日々の学習指導でWeb配信の活用を生かせるように工夫しています。

テスト前の事前指導を大切にする

見附中学校での取組で、学年部・教科部で連携しながら全校体制でWeb配信テストを行っていること、正答率が低い問題への対応や定期テストへの出題などの事後指導に留意すべきものがありました。

今中中学校では、

- (1) テスト範囲を「たより」や「提示」により生徒に開示
- (2) テスト範囲の難易度を生徒に開示
- (3) テスト1週間前を目安に、授業で範囲の確認を実施

などの取組で取り組んでいます。事後指導、入力及び学年部長を中心にしています。今後は結果の分析を踏まえた上で事後指導能力を入れていきたいと考えています。

見附小学校の上佐先生、今中中学校の林先生、原稿をお寄せいただきありがとうございます。次号は、活用法リレー紹介のパートです。また、校長先生から、学力向上に際すの覚悟をいただく予定です。



学力向上に向けて
これだけは大切にしたい
教師の10カ条
～授業中に～

- 1 ねらいが明確な、わかりやすい発問や具体的な指示に心がけます。
- 2 考えを深めるために、「話し合い」や「書く」などの多様な学習活動を設けます。
- 3 板書は、授業の流れ・ポイント・考えの違いが分かるように工夫し、整理して書きます。
- 4 教材とかかわる時間を十分に確保します。
- 5 丁寧な巡回視察を行い、一人一人のつまずきを把握したり、必要に応じ個別に支援を行います。
- 6 学習の終末では、わかったこと、よくわからなかったこと、次をやりたいことなどをノートに書く、振り返りの場を設定します。

～日常的に～

- 7 子どもの集中力を高める学習環境をつくり出す(すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓、換気、採光等)。
- 8 ほめるときは大いにほめ、注意するときはきちんと注意するとともに、必要に応じ、個別指導の場を設けます。
- 9 言葉遣い、おあいさつ、丁寧に話を聞く等、教師が子どもの模範となるようにします。
- 10 開始時刻と終了時刻をしっかりと守り、学習時間を保証します。

見附市教育委員会
 アクションプラン「みつけレインボー」推進委員会

生活リズムガイドブック

見附市教育委員会
 アクションプラン「みつけレインボー」推進委員会

見附の子どもの本 中学生向けリスト100

見附市教育委員会
 アクションプラン「みつけレインボー」推進委員会

教師の指導力向上

見附市の取組

①



Web配信交流プラザ



ツイートシートシステム



教師の10カ条自己評価システム



「師がく」 指導力向上マンツーマン研修



大学の先生による校内研修出前指導



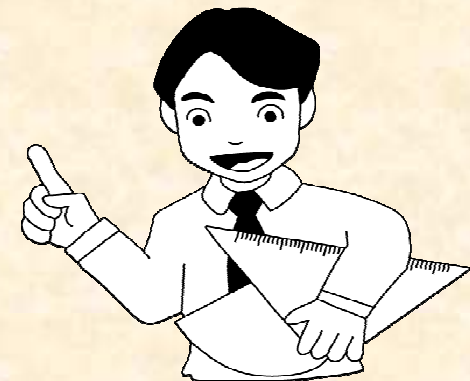
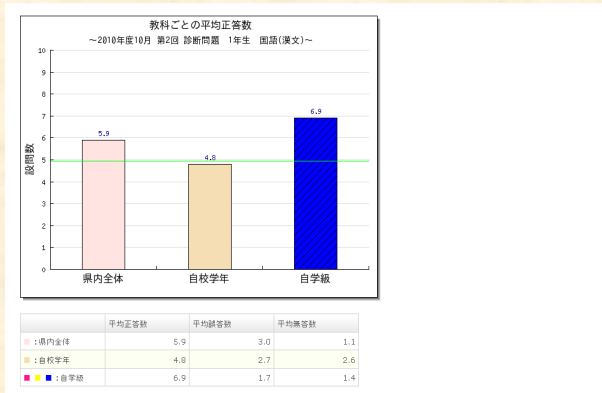
ツイートシートシステム



授業が分かるを子どもに届ける
ツイートシステム



市内の教員なら誰でも、閲覧できるシステム
①課題(成果) ②改善策(有効だった方法)





ツイートシートシステム

授業が分かるを子どもに届けるツイートシートシステム

H24 1月学力向上推進システム「今月のツイート」 ①課題(チェック) ②改善策(アクション)

国語シート

	3年	4年	5年	6年
	①風の様子を表す言葉の正答率が低かった。「ビュービュー」は強い風のイメージがあることから、「そよそよ」を選ぶ子が多かった。 ②季節に応じた表現を散えたり、場面の様子に表した表現を指導する。	①主語と修飾語の見分けが付かない。 ②文の構成について復習し、主語と修飾語を押さえる。繰り返し練習問題を解く。	①「その後」を使って二つの文に分けることができなかつた。 ②つなぎ言葉や文章の敬体についてチャレンジタイムで復習する。	①全体としては正答率が高かった。正答率が低かったのは問9。誤が「よくない」なので、改は「よい」であるべきだが、「いい」と答える子が多かった。 ②平均値を取ると高い正答率になるが、個人差
見附小学校	①漢字の書き取り「乗る」の正答率が低かった。 ②繰り返し練習し定着を図る。どこを間違えたのか見直しをする習慣を付ける。	①修飾語の間で、主語を修飾語と間違える児童が多い。 ②補充テストや授業、学年テストで何回か指導しているが、定着しない。繰り返し多くの例文を使って、指導していく。	①「その後」を使って二つの文に分けたり、予想した形に書き直す問題ができなかつたりと問題の意味をとらえていない様子が見られた。 ②作文を書く中で文末表現を合わせることを確認したり、長すぎる文章を分けて書くように指導	①3の(5)段落を変える問題での誤答が多い。 ②文章の段落構成を意識し、説明文を読んだり、文章を書いたりする学習が必要である。3学期は作文学習で段落構成を意識づけたい。
	①風の様子を表す言葉の正答率が低かった。 ②復習をして確実に身に付くようにしたり、練習プリントなどで繰り返し練習したりしていく。	①修飾語を選んでも、何を詳しくしているのかが分からない。 ②今後も練習を繰り返し、格実に選択できるようにする。	①「燃える」を「焼える」と書いた児童が多かった。文を分けた形に書きなおす。 ②漢字の正しい読み書きを身に付ける。ミニ漢字テストで確認、習熟。	①段落を変えて書くところを見つけている問題の誤答が多かった。 ②「第一に」「第二に」と内容的に分かれていることは分かっているが、形式が合っていないことに気付かない。作文指導で段落を意識付けてい
見附第二小学校	①風の様子を表す言葉の正答が低かった。 ②文章をよく読んで、言葉の意味や表している感じを考えることを意識させていく。	①照るの漢字の間違いが多く、修飾語を間違える児童が多い。 ②漢字は繰り返し練習の機会を設け、定着を図る。修飾語については、似ている問題を取り上げて全体にもう一度指導していく。	①「貸す」と「借りる」を混同して覚えている。一文から二文に分けることができなかつた。 ②毎月、漢字が書けない。繰り返し練習で、定着を図る。二文の仕方、文末表現についての類似問題で理解を図る。	①段落を変えて文を書き直す問題の正答率が低かった。 ②普段のノート指導や作文指導で段落を意識して書くよう指導する。
名木野小学校	①風の様子を表す言葉の正答率が低かった。 ②「さびしそうな音」「クリスマス」という言葉がから、ビュービューがふさわしいことや、そよそよの言葉にふさわしい場面を指導し、言葉が表している様	①修飾語が分からない。 ②修飾語、主語、述語など文の構成を復習する。国語の時間、それ以外でも、修飾語について意識を高めるように声をかけていく。	①「貸す」が書けない。「借りる」と混同している。二つの文に分ける、という意味が分からない。 ②全体的に正答率が悪い。何を問われているか、その意味を理解することができていないので、類似問題をやり、問題の傾向に慣れさせる。	①設問④文章を書き直す問題の正答率が低かった。 ②問題文をよく読まない傾向が見られる。文章をよく読み返し、何を聞かれているのか把握させる習慣を付けさせていく。
	①風の様子を表す言葉の正答率が低く、「そよそよ」と答える子どもが多かった。 ②場面の様子や、様子に即した表現などを学習中にしっかりとおさえると共に、言葉の使い方だけを取り出して練習していく。	①修飾語、修飾語がどの言葉詳しくしているか分かっていない。 ②修飾語だけでなく、主語や述語の復習をプリント等で繰り返し行う。	①問10の正答率が低い。2文で正しい誤答が多かった。 ②授業中、1文、2文が理解できるようにする。書きぬいたり、1文、2文・・・と限定して文を書かせたりする。	①設問⑩の段落を分ける問題の正答率が低かった。 ②段落は、読点があるごとに改行してつけると理解していると推測される誤答が目立った。作文指導を通し、話のまとまりごとに段落を変えるという
田井小学校	①ローマ字の定着が不十分な児童がいた。 ②練習プリントやパソコンの文字入力などの学習を通して、定着を図っていく。	①見出しを選択していない児童が多い。問題を正確に読んでいないこと、見出しの意味を理解していないことが原因。 ②実際に新聞を書くときに用語を使うこと。文章の糸を正しく読み取ること。	①設問③の誤答は、村上さんのメモを読まず、問題文しか読んでいないためのミスだった。 ②しっかりと、設問もメモも読むように指導する。	①設問⑩の段落を分ける問題の正答率が低かった。 ②第1の中で、さらに段落を区切ると勘違いした子が若干いた。5つの上のうちの「第1に」「第2に」と結びつけられていなかったので、文章構成
葛巻小学校	①風の様子を表す言葉の誤答が多かった。 ②文章をよく読んで、言葉の意味や表している感じを考えることを意識させていく。	①修飾語の問題がはたして適切な問題なのか疑問である。形容詞や形容動詞、副詞ならば分かる。②新聞作りを何度かやってきたので割り付けの問題はよく出てきた。	①問6と問9が低い。問6は文章の読み方が丁寧でないこと、問9は文末の表現に気づかないことが原因。 ②授業で問題を出し、答え方や問題の意味の捉えに慣れさせる。	①文章の書き直しの問題と段落を変えるところを見つけている問題に間違いが多かった。 ②いろいろな書き方で一つの文章を書いたり、段落を意識して文章を読ませたりする活動を設ける。問題文を繰り返し読んでから問題を解くよ
	①風の様子を表す言葉の誤答が多かった。 ②「さびしそうな」という言葉に注目できるよう、前後をよく読んで答えることを授業の中で取り入れていく。	①修飾語が選べない。②いろいろなパターンを繰り返し練習するしかない。また、主語述語を更に習熟させることで、修飾語がはっきりしてくる。	①問題文の読み取りができていない。どんな答えを求められているか分かっていない。 ②学習中に問題を取り入れながら、問題文と答えの関係を理解できるようにする。	①文章の工夫を選ぶ問題と、段落を書きかえる箇所を選ぶ問題があまりできなかった。 ②文章を書く時間を確保したり、段落を意識した書き方を指導したりする。
新潟小学校	①全体的によくできていた。ビュービューをどう解釈するかで、誤答が見られた。また、ローマ字もなかなか定着していない。継続的な学習が必要である。 ②その言葉の意味だけで判断するのではなく、文脈の中で、解釈する力を育てる必要がある。互いの解釈の違いを発表し合ったり、話し合ったりする学習を取り入れていく。	①全体的によくできていたが、確認問題である修飾語の問題で誤答が多かった。 ②修飾語、被修飾語の関係や主語・述語など普段はあまり意識しない。「主語は？」「述語は？」と問いかけた時、修飾語は赤、被修飾語は青で視写したりするなど、意識できる工夫をしていく。	①全体的によくできていた。文の書き換えで、誤答が見られた。 ②文章をにている意味の言葉で書き換えてみると、作者が「なぜ、その表現したのか」を考えることができる。その書き換える活動を続けると解釈する力と、語彙力を伸ばすことができる。「読む」「書く」の様々な場面でも取り入れていく。どの学年でも取り組んでいく。	①段落を分ける、文を書き直す問題で誤答が多かった。 ②段落を分ける場合、意味を考えて分けるわけであるが、接続語やキーワードに着目して分けることもできる。説明文を読むとき、接続語やキーワードを○で囲むなど、基本的な読み方も指導していく。

ツィートシートシステムに対する教師の声

自分の指導を振り返る教師

誤答の傾向から課題を具体的に把握する教師

具体的な指導法を学び、短期的な取組を明確にする教師

子どもの間違いやすいパターンに気付いている教師



教師の10カ条自己評価システム

学力向上に向けて これだけは大切にしたい 教師の10カ条

～授業中に～

- 1 ! ねらいが明確な、わかりやすい発問や具体的な指示に心がけます。
- 2 🪑 考えを深めるために、「話し合い」や「書く」などの多様な学習活動を設けます。
- 3 📊 板書は、授業の流れ・ポイント・考えの違いが分かるように工夫し、整理して書きます。
- 4 📖 教材とかかわる時間を十分に確保します。
- 5 🔍 丁寧な机間巡視を行い、一人一人のつますきを把握したり、必要に応じ個別に支援を行います。
- 6 ✎ 学習の終末では、わかったこと、よくわからなかったこと、次にやってみたいことなどをノートに書く、振り返りの場を設定します。

～日常的に～

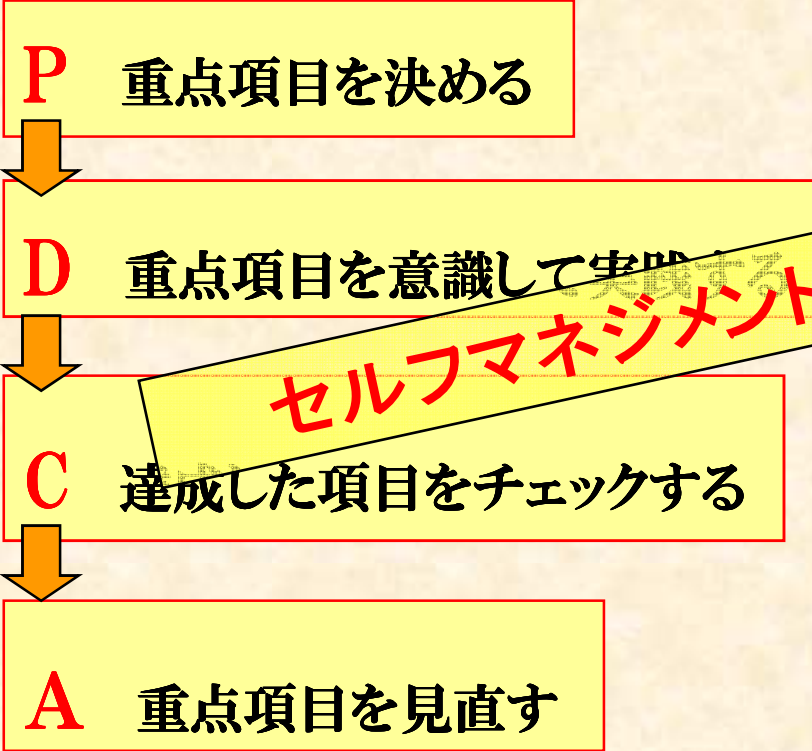
- 7 🪑 子どもの集中力を高める学習環境をつくります
(すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓、換気、採光等)。
- 8 😊 ほめるときは大いにほめ、注意するときはきちんと注意するとともに、必要に応じ、個別指導の場を設けます。
- 9 👤 言葉遣い、あいさつ、丁寧に話を聞く等、教師が子どもの模範となるようにします。
- 10 ⌚ 開始時刻と終了時刻をしっかりと守り、学習時間を保証します。

見附市教育委員会
アクションプラン「みつけレインボー」推進委員会



教師の10ヵ条自己評価システム

10ヵ条の中で、ほぼ達成できたと考える項目



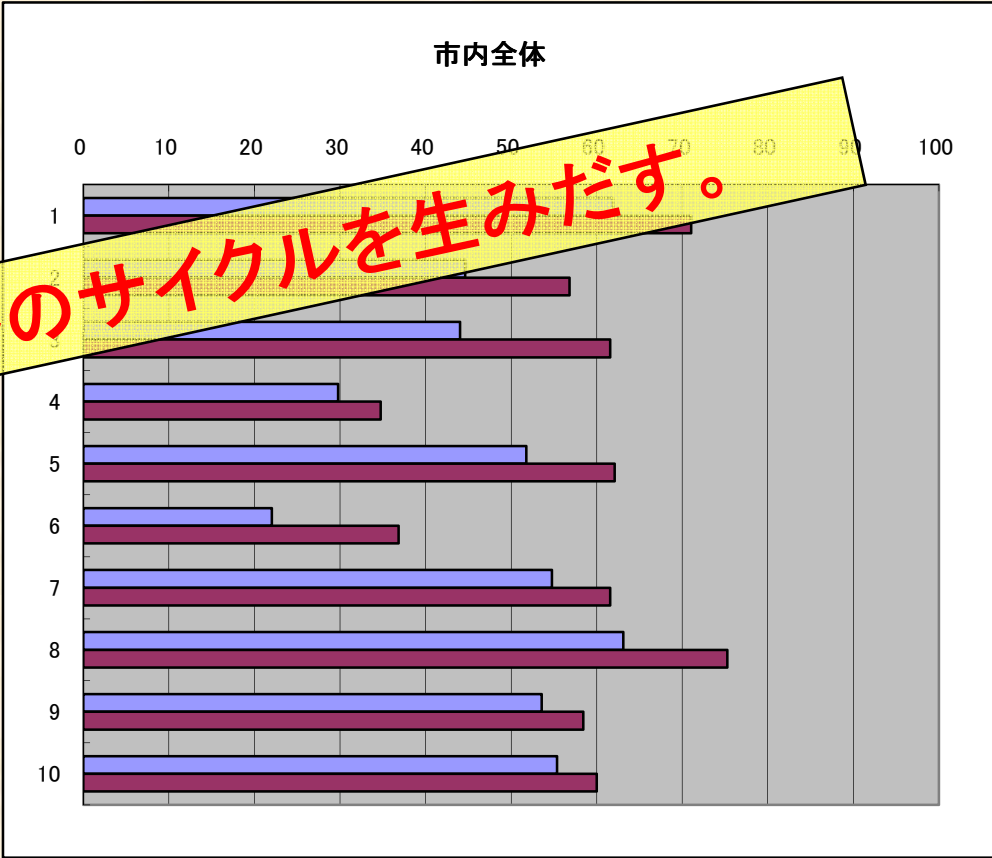
P 重点項目を決める

D 重点項目を意識して実践する

C 達成した項目をチェックする

A 重点項目を見直す

セルフマネジメントのサイクルを生みだす。



H23 上(青)1学期 下(紫)2学期

★4 「師がく」 指導力向上マンツーマン研修

マンツーマンによる実践的な研修

教員OBによる

「師がく」

・年間2回の授業公開
↓
その後の
マンツーマン指導

指導力向上に向けての具体的な指導



教師の発問、板書の仕方、教材教具の使い方等、授業の基本となることについて具体的にご指導いただきました。その1つ1つが指導力アップにつながる大切なものばかりでした。



大学の先生による校内研修出前指導

市内全13ヵ校で大学の先生による出前指導を実施



専門的な立場からの指導力向上に向けての指導



家庭・地域・大学との連携



家庭学習ガイドブックの活用



生活リズムガイドブックの活用



見附子どもの本リスト100



みつけこども大学



大学生によるスタディサポート

見附市の取組

②



生活リズムガイドブックの活用



よりよい生活習慣を付ける

ステップ1

1 **あいさつをしよう。**
あいさつは、社会生活を営む基本です。家庭でも、学校でも人との関わりを大切にしましょう。

2 **早寝・早起きをしよう。**
朝ごはんをしっかりと食べよう。

3 **朝ごはんをしっかりと食べよう。**

4 **テレビ・ゲームの時間を決めよう。**

家庭学習をしよう。

5 **家庭学習**
学習した内容の理解を深めたり、進んで学習しようとする態度や態度を身につけることが大切です。さらに、得意なものを伸ばし、自己実現につなげましょう。

生活の約束 10カ条

6 **体を動かそう。**

7 **家の人と学校での出来事について話をしよう。**

ステップ2

8 **手伝いをしよう。**

9 **花と緑を大切にしよう。**

10 **読書の習慣をつけよう。**

読書の習慣
読書の習慣を身につけ、楽しさを伝えて、読書を楽しみましょう。図書館や学校の図書室に行き、いろいろな本に挑戦するのもいいですね。

花と緑
花や緑を育てながら、四季の景色に目を向けたりしてみましょう。遠くしずしい環境について考えのめいでもあります。

手伝い
みなさんも家族の一員です。毎日できる自分の仕事もしましょう。家族の仕事も進んで手伝いをしましょう。

家族との対話
家族がそろそろ前は、仕事の帰りを一緒にして、家族で食事を取りましょう。テレビは消して、いろいろな話ができると思います。一緒に読書をするのもいいですね。

運動
好きなスポーツや体を動かして遊ぶこと、夜はしっかりと寝ることが大切です。朝も早く起きよう。そして、朝から元気に活動することが大切です。生活リズムが整っていると、何事も意欲的に取り組めるようになっていきます。体を動かす遊びや運動をたくさんやりましょう。



見附の子どもの本リスト100

見附の子どもの本100冊運動の推進

家読 読み聞かせ 朝読書



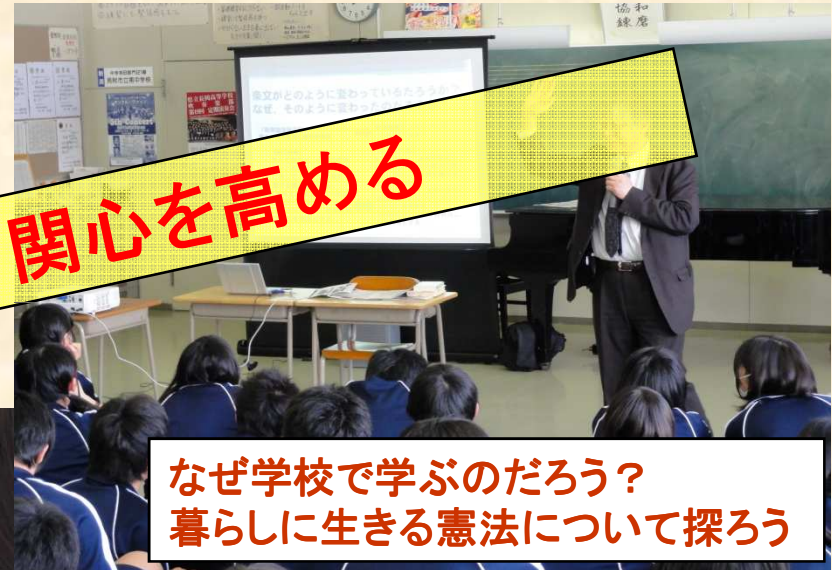
読書の習慣を付け、読む力を高める



★4

みつけこども大学

市内12カ校で大学の先生による授業を実施



学ぶことへの興味・関心を高める

漢字で書かれた詩を読もう

なぜ学校で学ぶのだろう？
暮らしに生きる憲法について探ろう



なぜ、新潟は地震や洪水が多いの

★5

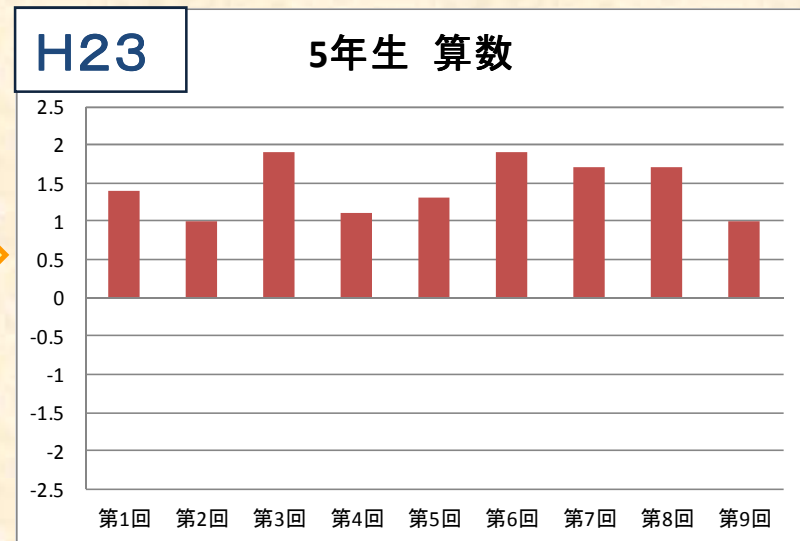
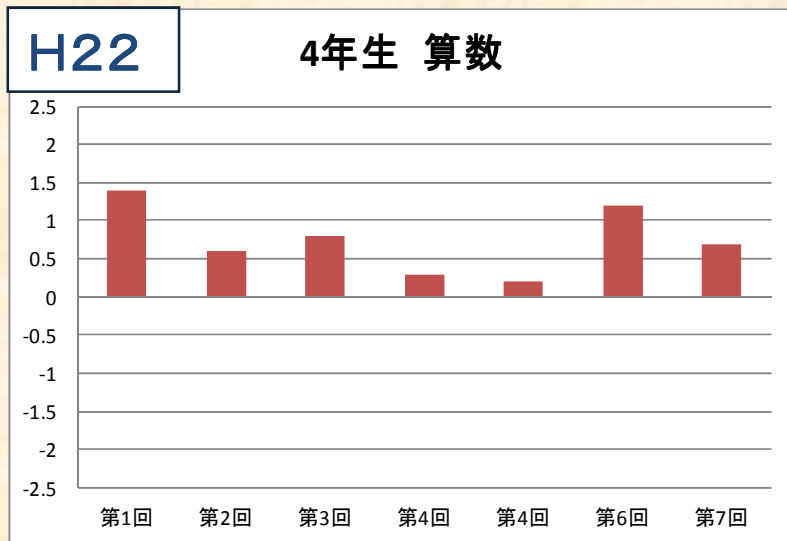
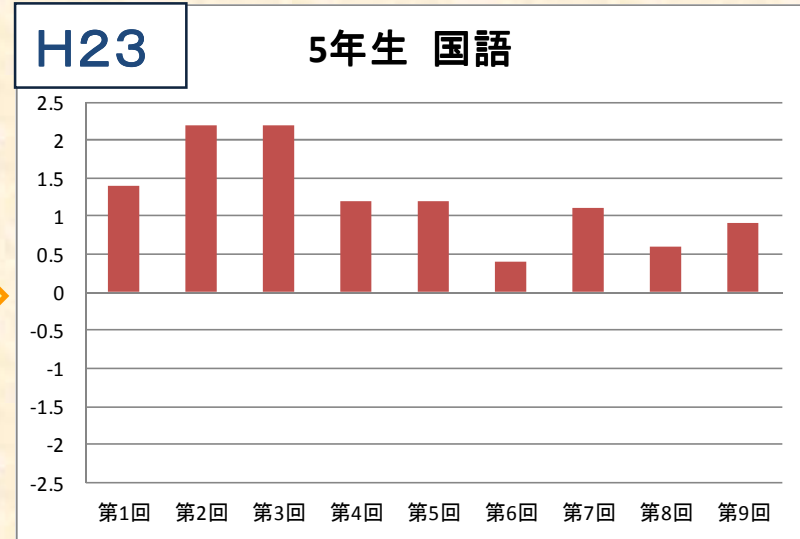
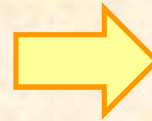
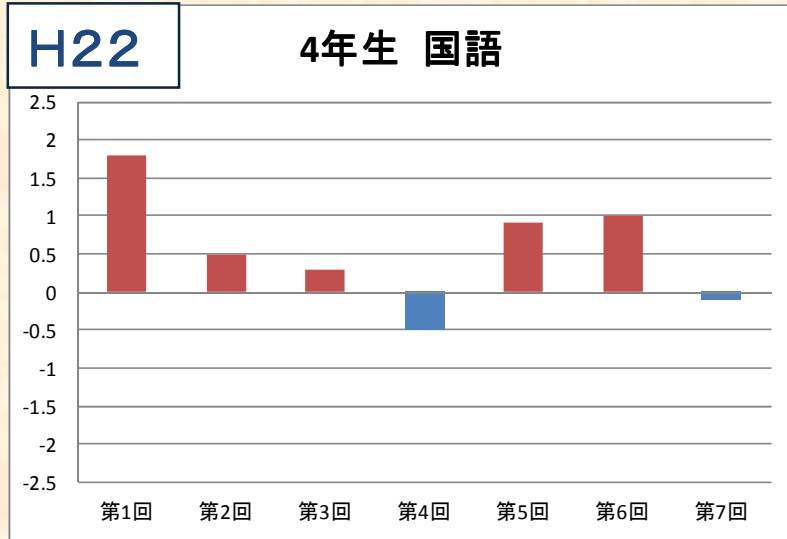
大学生によるスタディサポート



個に応じたきめ細やかな指導の実施



市内のB小学校のWeb配信の結果



成果を上げている教師のツイートの記述



5月

日常の授業でも、問題を解くとき図や表に表すことを大事に取扱い...

6月

1年生から続いている数の仕組みについて、意識付け、
確認をとりながら授業を進める

7月

かけ算・わり算について、計算方法だけではなく、
意味を理解することを大事にしていく

9月

以前の単元との関連づけを図って授業を行う。

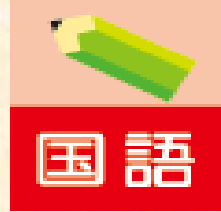
11月

具体物から半具体物への移行や抽象化にいたる経験を
授業の中で繰り返し組んでいく。

12月

以前の単元の内容を忘れていることが多く、
領域ごとに単元を振り返る必要がある。

成果を上げている教師のツイートの記述



6月

授業では、要旨を読み取ることを大事にし、新聞を読んで要約する等、短い文章を端的にまとめる**日常活動を大事にする。**

7月

修飾語を間違える児童は、日頃の文章を書くことが苦手な児童が多いため、**普段の日記作文の中で、詳しくする言葉を増やすように...**

9月

家庭にも呼びかけて読書への取組の強化を行う。

10月

全体の内容を把握し、その上で、細部について詳しく読む指導に加えて、**「事実」と「意見」を分けて考えることを強化していく。**

11月

全体をとらえ、前後を読む授業を続けていく。

1月

何気なく書いている日記や作文で文末表現に注目し、**書く時間を設定する。**

学力向上に向けて大切にしたいこと

課題の把握

Web配信等を活用して、課題を短期的に把握すること

1回だけの結果を見るのではなく、つなげてとらえる。

グラフ化 色分け... → 課題の可視化を図る。

学力向上に向けて大切にしたいこと

授業改善

内容と方法の2つの視点で

内容の改善→必ず身に付けさせたい内容を明確にして
内容の重点化を図る。

方法の改善→既習事項を振り返る、活用する場の設定
等、授業構成の工夫を図る

学力向上に向けて大切にしたいこと

日常的な指導＋家庭との協力

単文指導、日記指導、メモをとる習慣づけ等、
児童生徒の状況に応じて、常に改善を図る。

読書の奨励、生活習慣づくり等、家庭との連携を進める

学力向上に向けて大切にしたいこと

診断テスト等による課題の把握
(可視化と連続性)

授業改善
内容改善と方法改善の2つの視点で

日常的な一人一人の
学習状況がとらえられていることが前提

内容改善→内容の重点化を単元レベル、学年レベルで進める
方法改善→既習事項を振り返ったり、活用したりする場の設定(系統性を意識すること)

日常的な指導＋家庭との協力

日常的な指導→単文指導、日記指導、聞くときの習慣づけ等
家庭との協力→読書の奨励、生活習慣づくり等